

陽男山釀造元 永山酒造場 谷川瀬 酒稻穗東海釀造元 扇屋箱崎淺吉

平新報

發行日 每月三日 發行所 山形縣平町三丁目 電話 五二一 郵政掛號 第五〇九號

齒智の (五) 士學醫科齒 男芳合森 町銀白町平

を齒の抜去によりて治療せしめたいといふ事實を引照しその報告中から次の二例を挙げた。第一例は結核患者で第二例は膨脹を起す患者で何れも水い

千八百一年の或日彌癩に苦んでゐたバドモアの一青年紳士の父から診察を頼まれた。彼の齒を調べて見た所が上顎の數齒が傾他に罹つて居るのを發見し、これを抜く事を命じた。そしてその後に若し彌癩發作の前途があつたら

Table with multiple columns and rows, containing financial data and company information for various banks and organizations like 株式磐城銀行, 株式平銀行, 株式磐城銀行, 株式磐城銀行.

Additional text at the bottom of the page, possibly related to the financial data or a separate notice.

動中靜觀

山一庄一生

平藝妓屋組合
平藝妓屋組合は、本年勤王運動で藝妓を代表して表彰すべきか否か否は事既に終つた事であるが...

世人は新聞記者
と保険屋を毛虫の如く嫌ふが先づ縣會議員とか銀行の重役諸君は保衛の代理店をして居らぬ人は尠く新聞に...

比佐代議士
は過日在平記者を招いて新年宴を催したマナに新人にけあつて憲政政友を問はず公平に全部を招いた文化事業に従ふもの日刊、旬刊の區別ない管だ招かれて行くかぬは自由だがその折...

滑川警中校長
『日新新聞の事はよく知らぬが當地の記者諸君は新聞の木鐸を以て任じて居るのですか』と又曰く『何でも彼で報道するのが使命ですか』と筆者は曰く『記事の迅速を尊ぶ熱心からは非でも、これが報道して社會に影響を及ぼすか否...

吉田泰樹(波山)
芳賀村藤原内 芳賀村大田氏方 吉田泰樹(波山) 右本年一月六日より數日間本社臨時駐社として芳賀村方面の本社の營業を取扱はせ候も爾來關係を解き候 大正十五年一月

平新報社
かを深考する暇なきため何でも彼でも掲載する事になります、兎に角検事局より差し止め又は法に解れぬと考いた限り社會の輿論を掲載せぬとあり、東京のこのソリがある紙面は紙大新聞にして然りです、今後の新聞の難報はより以前吾人同業者は少し淡純であつて欲しい然し郡長や署長なんかはマルで旬刊紙を眼中に置かぬか何とぞか出初式の折なんか何とぞか話題にしてその必要なしとしたり相だきたない様だがこの意味に於て弊時事研究...

御断り
拾年前の平新報は筆者の都合上前號掲載を以て中絶す凡倉拾年浮草生活も本號に掲載を見合しました

佐原酒釀店
醸造元 高木武一郎

廢物利用 全部鑄鐵製
「特許」長壽風呂!!!
皆さん國家の經濟は、家庭の經濟から、家庭經濟の第一歩は先づ燃料の節約であります、燃料とは即ち、石原式長壽風呂!!!

- 一、一日五錢の白銅一枚で終日の勞を忘れ
二、僅か十五分内外でわく
三、廢物同様な松葉蕨屑は勿論薪炭等何んでも良く燃える
四、全部鑄鐵製ですから堅牢で長壽使用する事が出来ます
五、焚口は其ま煙筒は前後、左右何れの方にも向られます
六、据付けの時又は移動する時はセメント、パッキン及煉瓦等は必要ありません
七、組立に要する職人の手間は全く入りませぬ簡単ですから御自身で御自由の所に
八、尙その構造は總高二尺八寸、口徑内徑二尺四寸五分
外徑二尺六寸(二人用)釜總高二尺三寸五分
九、小賣定價金拾九圓五拾錢でありますが數個取纏め御買購めの方には相談に應じます
十、燃料の關係上農家には最も適して居ります
長壽風呂製造發賣元 石原鑄造工場

特約店 諸機械銅鐵
和洋金物商
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番

タカキ醬油
醸造元 高木武一郎
小名濱町藝妓屋組合
壽満屋 三春屋
花月 新
不二家 竹米

井の元造
長瀬五郎
村川玉郡城石縣福

松柏館
電話五〇七番

平町小兒科皮膚科
藤名醫院
電話五〇七番

平町一丁目
諸印章木版各種
清仙堂

平町三丁目
男琴合奏

瓦トンメセ
日本型(密上り)
壹等品 六圓五拾錢
貳等品 四圓五拾錢
獨逸型(全上)
六圓五拾錢
分工場 江名町中ノ作
町南町平
社業工瓦洋正大
番五三四話電

清水醫院
電話三三八番

上田外科醫院
電話二二九番

片岡醫院
小名濱町西町

平町三丁目
中野吳服店

欠

3 頁以降